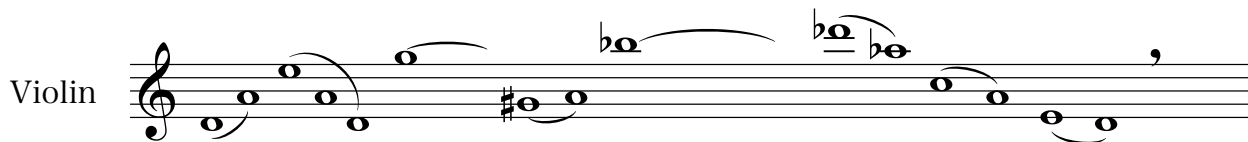


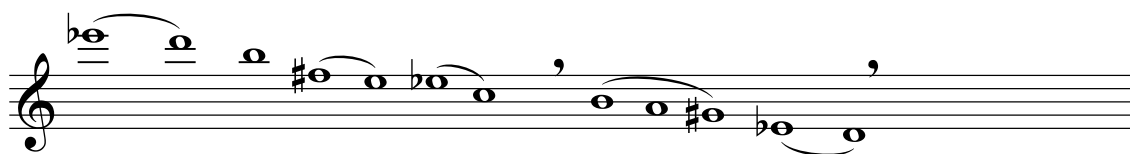
狂句逆転 Crazy Renku in reverse

柴田南雄『歌仙一卷』no.59 による

高橋悠治
yuji takahashi
2014



36. 廊下は藤のかげつたふ也



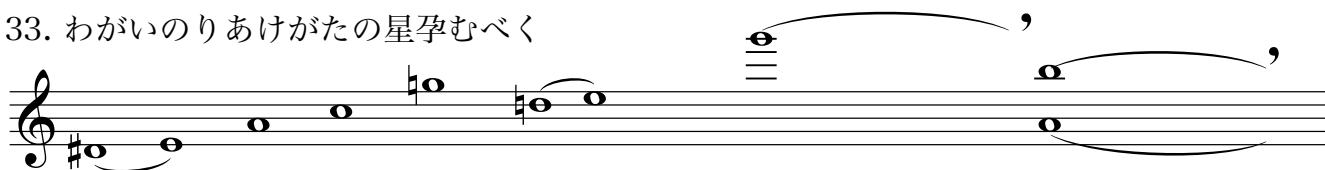
35. 綾ひとへ^{をりゆ}居湯に志賀^{こし}の花灑て



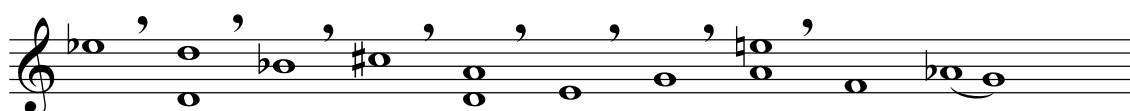
34. けふはいもとのまゆかきにゆき



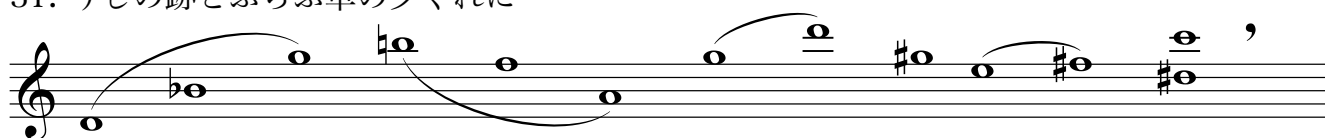
33. わがいのりあけがたの星孕むべく



32. 箕に^{このしろ}鯨の魚をいたゞき



31. うしの跡とぶらふ草の夕ぐれに



30. 巾に木槿をはさむ琵琶打

pizz. arco

29. 日東の李白が坊に月を見て

じつとう

28. 秋水一斗もりつくす夜ぞ

27. あはれさの謎にもとけし郭公

ほととぎす

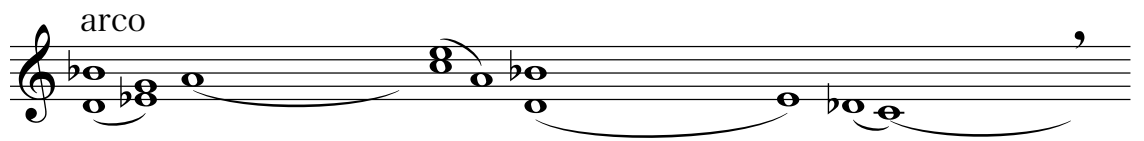
26. 烏賊はゑびすの国のうらかた

Pos.5 Pos.7

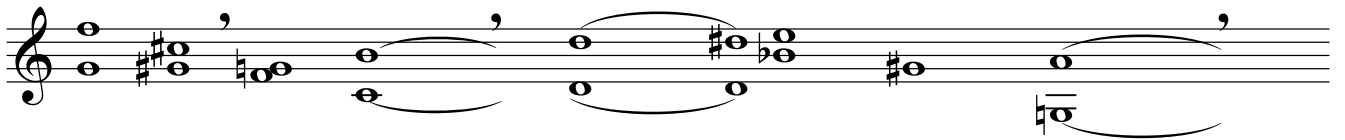
25. しらじらと碎けしは人の骨か何

pizz.

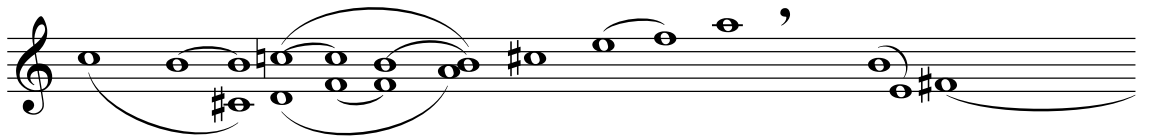
18. 蝶はむぐらにとばかり鼻かむ



17. 二の尻に近衛の花のさかりきく



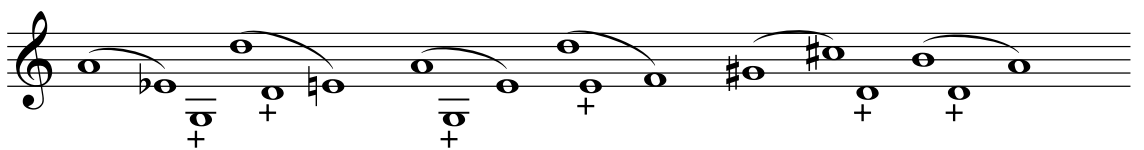
16. となりさかしき町に^{おり}居る



15. たそかれを横にながむる月ほそし



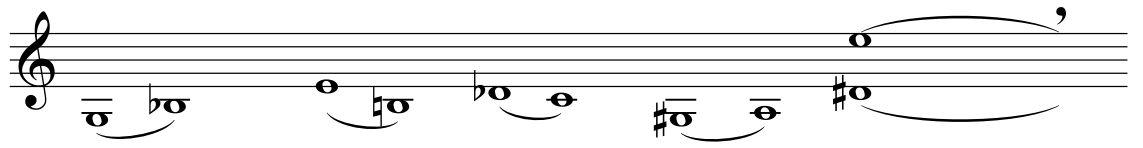
14. 霧にふね引人はちんばか



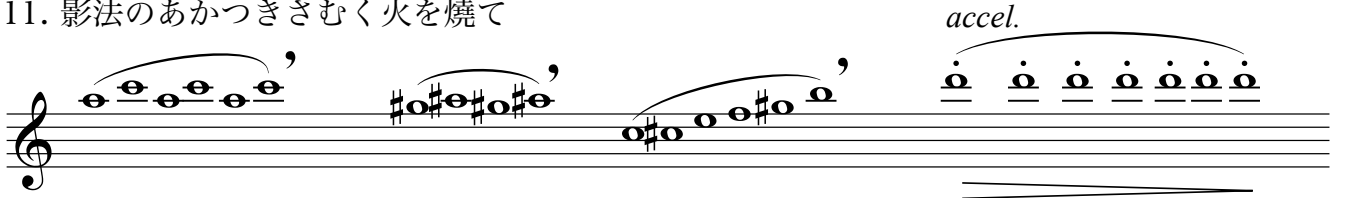
13. 田中なるこまんが^{おつ}柳落るころ



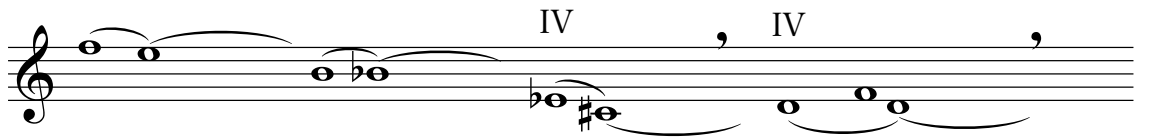
12. あるじはひんにたえし^{からいえ}虚家



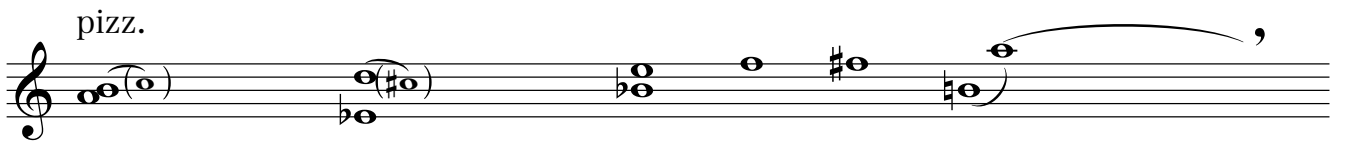
11. 影法^{かげぼう}のあかつき^{たき}さむく火を焼て



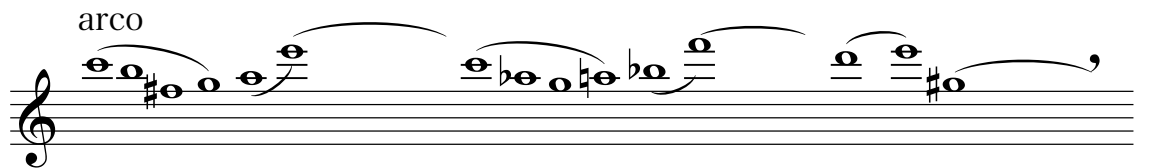
10. きえぬそとばにすごすごとなく



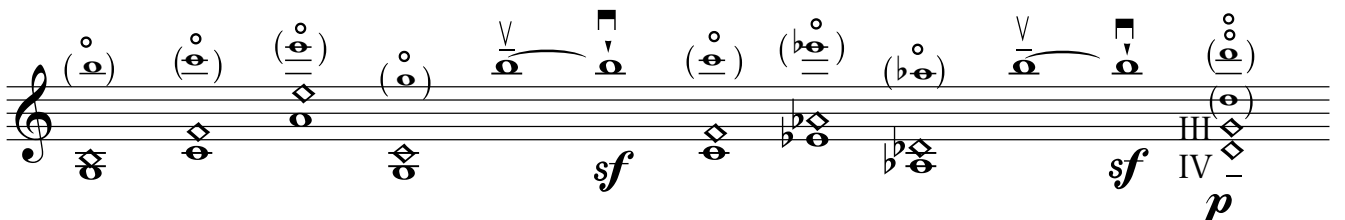
9. いつはりのつらしと乳をしぼりすて



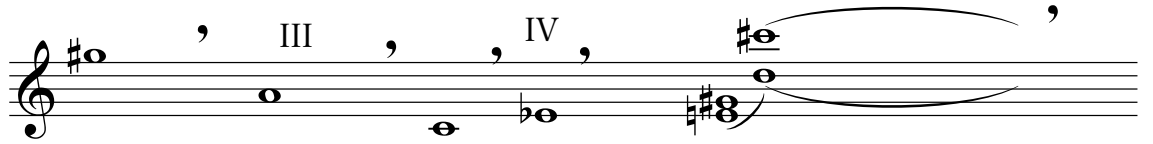
8. 髪はやすまをしのぶ身のほど



7. わがいほは^{さぎ}鷺にやどかすあたりにて



6. 日のちりちに野に米を茹^{かる}



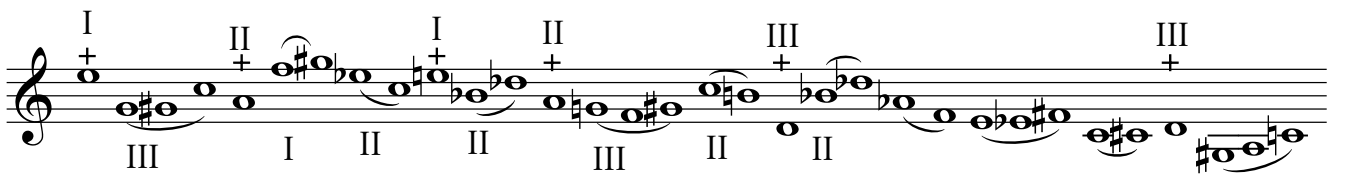
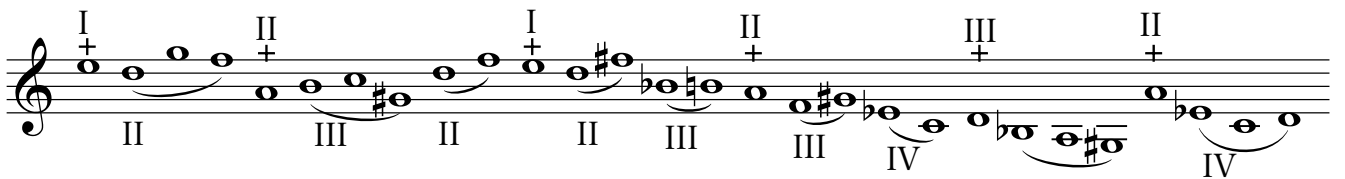
5. 朝鮮^{てうせん}のほそりすゝきのにほひなき



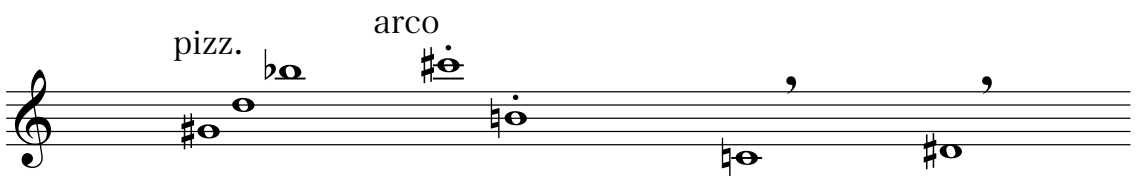
4. かしらの露をふるふあかむま



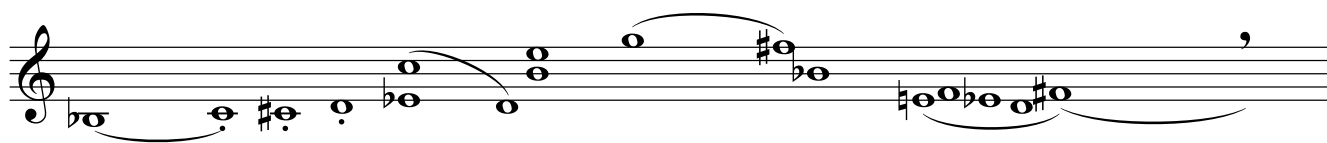
3. 有明^{もんど}の主水に酒屋つくらせて



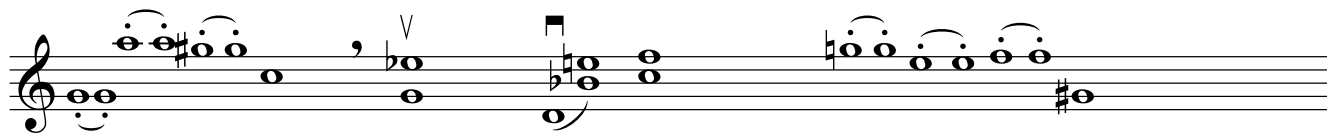
2. たそやとぼしるかさの山茶花^{さんざか}



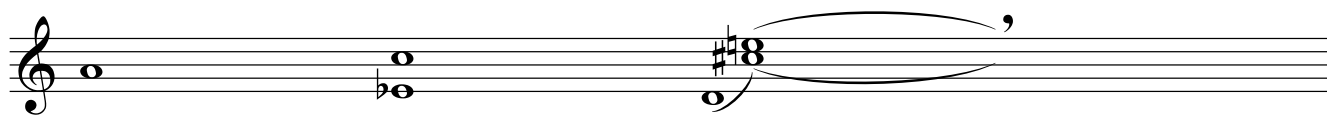
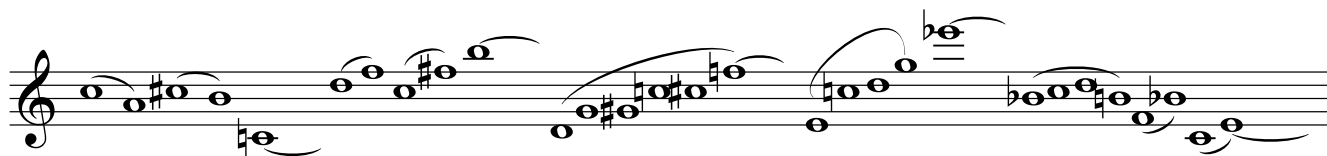
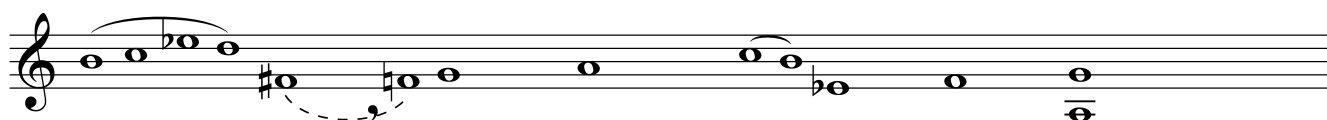
1. 狂句こがらしの身は竹斎に似たる哉



<Ravel: Tzigane



笠は^{ちやうと}長途の雨にほころび、^{かみこ}昏子はとまりとまりのあらしにもめたり。
侘びつくしたるわび人、我さへあはれにおぼえける。



むかし狂歌の才士、此国にたどりし事を、^{ふと}不図おもひ出て申し侍る

